

一般社団法人日本地質学会 2012年度第2回理事会議事録

日 時：2012年9月14日（金）15:30-18:30

会 場：堺市産業振興センター会館 会議室1（堺市北区
長曾根町183番地5）

出席役員 理事（38名）：安藤寿男 市川八州夫 伊藤 慎
井龍康文 石渡 明 Simon Wallis 永広昌之 太田
泰弘 大津 直 小山内康人 笠間友博 狩野彰
宏 川辺文久 小嶋 智 斎藤 眞 坂口有人
佐々木和彦 柴 正博 高木秀雄 高橋正樹 竹下
徹 田村嘉之 内藤一樹 中澤 努 西 弘嗣 久
田健一郎 平田大二 藤本光一郎 星 博幸 宮下純
夫 宮田隆夫 向山 栄 村田明広 山口耕生 山
路 敦 山本高司 脇田浩二 渡部芳夫

欠席役員 理事（12名）：天野一男 伊藤谷生 川端清司
清川昌一 芝川明義 竹内 誠 藤林紀枝 保柳康一
松田達生 松田博貴 矢島道子 山田泰広

監事（2名）：青野道夫 山本正司

その他出席者 事務局：橋辺

* 成立要件：理事総数50名の過半数26名，本日の出席者
38名で本理事会は成立。

* 議決：出席者の過半数19名

* 書記2名の選出：開催にあたり，川辺理事ならびに坂
口理事を書記に選出。

○報告事項

1. 執行理事会報告

1) 6月・7月・9月執行理事会議事録要点ほか（斎藤常
務理事）

斎藤理事より執行理事会議事録が報告され修正の上了
承された。

2. 理事からの報告

1) 大韓地質学会会長をお迎えし，学術交流協定（2回目）
を締結

井龍理事より報告。2007年に締結された日韓の学術交
流協定を延長することを決めた。協定書の内容は同一。
9月15日に締結式および次の5年間の展望を話し合う。
16日の国際ワークショップで大韓地質学会副会長の講演
がある。

2) Island Arc 編集委員会報告

・2012年21巻の予定総ページ数は329pと昨年の825pより大
幅に減少したが，投稿数は増加傾向であり回復が見込ま
れる。

・完全オンライン化とともに投稿の魅力を上向きさせるため
に誌名の変更を執行理事会に提案し，了承された。広く
誌名を募集し，Editorial Advisory Boardと編集委員
会で投票して決定する。来年5月の総会までに共同運営他
学会との協議および規則変更手続きを進めていく旨，伊
藤理事より報告があった。誌名決定方法の詳細は編集委

員会に協議してもらう。また名称変更に伴う規則類変更
や承認手続きが発生するので執行理事会への報告を怠り
ないよう指摘された。

3) フィールドジオロジーシリーズ（本学会編，共立出版）
の完結（石渡会長）

フィールドジオロジーシリーズの第8巻，第9巻が刊
行され，シリーズが完結した。9巻は出版後にミスが見
つかり，正誤表が共立出版のウェブから公開されてい
るとの報告があった。

第8巻「火成作用」（高橋・石渡）

第9巻「第四紀」（遠藤・小林）

4) 本学会の英文概要紹介文について（石渡会長）

国際交流にあたり学会の英文概要紹介が改訂された
と石渡会長より報告があった。ウェブ等を含めて活用し
ていく。

5) 地震，火山，津波，海底地すべりなどの国際研究組織
への協力について（斎藤理事）

小川勇二郎会員（IUGS理事）からアジア太平洋地域の
自然災害の国際協力のために，災害関係の情報を集めて
欲しいと依頼があった。地質学会としてできることを小
川会員および執行理事会とで検討する。

6) 学術会議地球惑星科学委員会地球惑星科学大学教育分
科会報告（小嶋理事）

学術会議の分科会により，地球惑星科学に関する大学
教育の質保証のための参照基準が検討されていることが
報告された。

7) 大阪大会報告（星 行事委員長）

・大阪大会概要報告があり，560超の発表と800名以上の参
加が見込まれる。大韓地質学会との日韓学術交流，シン
ポジウム，国際ワークショップ，小さなEarth Scientist
の集い，巡検，地質情報展など概要が紹介された。

・仙台大会は会場の都合により9月14-16日に変更された。
巡検コースの検討が進められている。仙台大会から巡検
の運営を業者に委託するための準備・検討を進めている。
・今後の学術大会を盛り上げていくため，オープンディス
カッションを大阪大会の最終日17日の夜間小集会として
開催する。

最後に，大阪大会LOC，近畿支部長の宮田理事より，今
大会の状況について挨拶をいただいた。

8) 社会貢献部会（高木理事）

・復興プランの成果が大阪大会のポスター会場で報告され
る。今年もプランが公募され，二件応募のうち一件が採
択された。成果等はニュース誌，メルマガで報告してい
く。

・ジオパーク支援委員会は任期満了に伴う委員の交代等が
あった旨報告された。

・国内のジオパークとして，八峰白神，湯沢，銚子，箱根，

伊豆半島が、隠岐は世界ジオパークの審査が行われたことが報告された。

○審議事項

1. 地質学会謝金細則ならびに国内旅費細則の改正

日本地質学会受託研究謝金規則は対象を受託研究に限定していたが、これを一部改正し、他事業の謝金・旅費も対象になるよう改正したいと斎藤常務理事から提案があった。一部修正の上了承された。

2. 名誉会員のあり方の検討（斎藤理事）

名誉会員のあり方WG（仮称）を理事会の下に設置することが提案され了承された。

WGのメンバーとして久田理事、Wallis理事、伊藤理事、佐々木理事が選出された。

WG長はメンバーの互選で選出する。

3. 会費のあり方等も含めたシニア会員制度の検討（西理事）

理事会の下に「財政及びシニア会員制度の検討WG（仮称）」を設置し、人選は財務担当理事に一任することが提案され、了承された。

4. 地方支部区理事の選出方法の検討に伴う、選挙規則・細則の改正の検討（斎藤理事）

現行規則では各地方支部区代議員選挙のトップ当選者を地方支部区選出理事としているが、これでは支部や本人の意思に必ずしも合致しない場合がある。また、同数得

票での当落の定めが不備である。そのほか会員数が支部によって大きく異なる等の問題点も挙げられ、継続審議となった。

5. 地球環境変動史部会の設立について（井龍理事）

学術研究部会より黒田潤一郎会員を部会長とする「環境変動史部会」という新しい専門部会の設立提案があった。提案の部会規則の一部を修正した上で、了承された。2012年10月1日から活動を開始し、2013年学術大会にてセッションを設ける。

6. 編集出版規則の一部修正

編集出版規則のC（原稿の審査と採否）3条は査読後再提出期限を3ヶ月としているが、より厳密に90日とすることが提案され、了承された。

7. 野外調査安全指針 付則1)の一部修正

野外調査安全指針 付則1)の文言「見学旅行」を「巡検」に改正するよう提案され了承された。

<追記> 各賞選考委員長の選出

理事会終了直後、本年度の各賞選考委員会は、互選により委員長として竹下理事を選出した。

以上、この議事録が正確であることを証するため議長および出席理事・監事は次に記名、押印する。（氏名・押印の掲載省略）

2012年10月12日